

合格体験記

氏 名: XXXXXXXXXX

担任講師: 原谷 谷日 柏小 先生

在籍校舎: 西日暮里 高田馬場 校

進学先

慶應義塾大学(文)

その他
合格校

中央(法、経済商、総合政策)立教(法、経済商、明治(商経))私立学院(法)

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

自分は高校一年生から、稲門学舎に通っていた。しかし、当初は勉強のやる気など一切無く、自習はもうした人、授業さえ、サボっていた。高校二年生になり、転機が訪れ、勉強のモチベーションが上がった。夏あたりから受験勉強をはじめた。当時の自分は、今よりもバカで、英語に関しては、基礎からやっていた。夏が終わり、10月くらいから毎日自習には行くようにしていた。そして、高2の冬にはセンター同日模試を受けた。英語には自信があり、7割五分を目標としていた。しかし、実際は、思うようにいかず、6割しかとれなかった。それで本当に悔しかった。それから、勉強時間をさらに増やし、無我夢中に勉強していた。あ、という間に高校三年生になった。その時の自分の第一志望はMARCHであった。最初の模試ではB判定をこえることができて、本当に嬉しかった。調子が良かった自分は、夏に合宿に行き、慶應を目指す決心を、慶應を目指すことにした。そして、小論文の対策として、高田馬場に上宿、始めた。しかし、秋におこなった成績は思うように伸びず、受験の厳しさを感じた。結局、成績は上がらないまま、センターをぶかえ、センターの点を伸ばせるものではなかった。センターが終わると、一気にやる気もなく、勉強時間も減った。その時の自分は、自分に失望しており、MARCHも落ちてしまった。自分を責めていた。その不安から、一般入試ではMARCHを学部間あず、多数出願した。結果としては、一般入試のMARCHは全部受かり、第一志望であった慶應の文学部を受かった。合格したことにはとても嬉しかった。しかし、最後に願望がなかったことは少し後悔している。

ている
最後に、自分は稲門学舎で勉強ができて本
当に良かったと思っっている。稲門学舎は個別
指導のため、生徒と先生のコミュニケーション
がとりやうく、その上先生は非常にフ
レンドリーなので、内向的な自分は精神的に
本当に助けられました。本当にありがとうございました。